

国際光年シンポジウム

「宇宙からのひかり」写真展

～天文・科学情報スペース～

高島規子（国立天文台・天文情報センター）

1. 天文・科学情報スペースとは？

2015年9月26日、“国立天文台”“三鷹市”“NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構”“株式会社まちづくり三鷹”の四者によって『天文台のあるまち三鷹』を三鷹駅前で実感できる場として共同設置されたスペース。

三鷹駅南口から徒歩5分程度の三鷹中央通り商店街の中という利便性の高い立地で、三鷹市民が気軽に、最先端の天文学や科学に触れることができる場所となることを目指す（図1）。

地域の活性化に向けた拠点となり、市民等の知的好奇心の醸成につながるよう幅広い情報提供や情報共有を行うことを目的としている。

★開館時間 10:00～18:30

★休館日 月・火曜日、祝日、年末年始

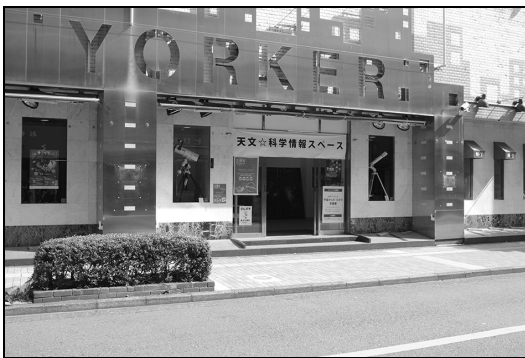


図1 天文・科学情報スペース外観

2. 「宇宙からのひかり」写真展

「国際光（ひかり）年記念 宇宙からのひかり」写真展は、『天文・科学情報スペース』のオープニング企画として「みたか太陽系ウォーク」期間中、同時開催された。国立天文

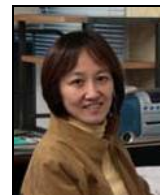
台が「宇宙からの光」写真パネルとして準備した天体画像20枚全てを壁面に沿って掲示し、開館時間中は、常時自由に観覧できる形で展示した（図2）。



図2 展示の様子

オープン当日と翌日、および、国立天文台特別公開「三鷹・星と宇宙の日」と重なった会期最終日は、1日当たり500人以上の人が訪れた。2015年9月26日（土）から10月25日（日）の約ひと月の開催期間中の来場者数は、延べ5,482人（9月:1,346人 10月:4,136人）。

期間終了後は、内容をすばる望遠鏡の画像のものに絞り、「宇宙からのひかり すばるが見つめた宇宙」として、2015年末まで展示。



高島 規子